

2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月14日

上場会社名 株式会社ゼネラル・オイスター 上場取引所 東
コード番号 3224 URL http://www.oysterbar.co.jp
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田 秀則
問合せ先責任者 (役職名) 経営管理本部長 (氏名) 芝田 茂樹 (TEL) 03-6667-6606(代表)
四半期報告書提出予定日 2023年8月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	835	3.1	△4	—	△5	—	1	—
2023年3月期第1四半期	809	96.3	△13	—	△13	—	△12	—

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 △2百万円(—%) 2023年3月期第1四半期 △15百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	0.44	—
2023年3月期第1四半期	△2.99	—

(注) 2023年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載していません。また、2024年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しなくなったため、記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	2,277	1,018	45.0
2023年3月期	2,390	1,018	42.7

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 1,024百万円 2023年3月期 1,020百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,896	3.5	130	2.2	128	△0.5	124	△10.2	30.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	4,027,700株	2023年3月期	4,023,700株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	229株	2023年3月期	229株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	4,027,372株	2023年3月期1Q	4,016,389株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額の著しい変動)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大防止のための制限や入国規制が撤廃され、感染症法上の分類において5類に移行されるなど、正常化に向けた動きが加速しました。また、外食需要の回復、鉄道・航空旅客数、宿泊需要の増加等に加え、訪日外国人による消費拡大が内需を押し上げており、景気は穏やかに回復しております。

その一方、ウクライナ戦争に収束の兆しがなく、歴史的な円安が継続しており、原材料価格や原油を中心とするエネルギー価格の値上げ圧力にさらされており、依然として先行き不透明な状況が続いております。

外食産業におきましても、新型コロナウイルス感染拡大防止のための制限が撤廃されたことにより、需要は回復傾向にあります。しかしながら、原材料、エネルギー価格及び物流費の高騰に加え、慢性的な人手不足となっており、経営環境は依然として厳しい状況が続いております。

こうした環境のもと、当社グループにおきましても、前年は新型コロナウイルス感染症拡大の影響がありましたが、当第1四半期連結累計期間においては当該影響を受けることはなかったため、前年と比べて売上を回復させることができました。加えて、この2年間進めてきた原価低減、モバイルオーダーシステム等の導入による少人数で運営できる体制作りを進めてきた結果、店舗事業の収支改善を踏ることができました。

2023年5月には、「8TH SEA OYSTER Barパルコヤ上野店」（東京都台東区）をオープンし、2023年10月にも、「8TH SEA OYSTER Bar渋谷ヒカリエ店」（東京都渋谷区）をオープンする予定です。また、阪急グランドビル店とミント神戸店のリニューアル工事を実施し、引き続き売上拡大に向けた出店・リニューアルを進める予定です。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高835,088千円（前年同期比3.1%増）、営業損失4,648千円（前年同期は13,804千円の営業損失）、経常損失5,101千円（前年同期は13,394千円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,758千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失12,004千円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。以下の売上高の数値はセグメント間の取引消去前となっております。

報告セグメントと事業の内容の関係性は次のとおりです。

- ①「店舗事業」は、店舗事業、富山入善ヴィレッジ事業の店舗から構成されます。
- ②「卸売事業」は、当社の店舗事業を除く外部飲食店等への牡蠣関連の国内卸売事業となります。
- ③「加工事業」は、店舗事業のセントラルキッチン機能及び外部からの受託加工事業から構成されます。
- ④「その他」は、浄化センター、陸上養殖の所在エリア内でのイベント事業及びECサイト事業から構成されます。

①店舗事業

当第1四半期連結累計期間においては、2023年5月に「8TH SEA OYSTER Barパルコヤ上野店」（東京都台東区）をオープンしました。この結果、2023年6月末現在の店舗数は26店舗となっております。

一方、前年は新型コロナウイルス感染症拡大の影響がありましたが、当第1四半期連結累計期間においては当該影響を受けることはなかったため、前年と比べて売上を大きく回復させることができました。また、この2年間進めてきた原価低減、少人数で運営できる体制作りを進めてきた結果、店舗事業の収支を大幅に改善することができました。

以上の結果、店舗事業における売上高728,254千円（前年同期比10.5%増）、セグメント利益73,878千円（前年同期比22.6%増）となりました。

②卸売事業

卸売事業では、自社店舗のほか、グループ外の飲食店舗などに牡蠣を卸売販売しています。当第1四半期連結累計期間においては、商社や飲食店が集まる食品展示会の出展や取引先の紹介依頼を強化し、販売先数の拡大に尽力しました。その結果、外部環境の改善もありましたが、売上高は引き続き好調に推移しております。

以上の結果、卸売事業における売上高88,178千円（前年同期比24.8%増）、セグメント利益27,818千円（前年同期比48.4%増）となりました。

③加工事業

加工事業は店舗事業のセントラルキッチンとしての役割が主でありましたが、2021年5月より、海産物の受託事業を開始しました。受託事業により、本セグメントの収支改善が進んでおりましたが、当社が主に取り扱っているホタテの価格上昇により、回転寿司チェーンの取扱いが縮小したため、本年2月以降大幅に受注が減少しております。また、本年6月以降魚類の加工受託を開始しており、本セグメントの赤字縮小に努めて参ります。

以上の結果、売上高5,837千円（前年同期比91.1%減）、セグメント損失21,186千円（前年同期はセグメント損失7,896千円）となりました。

④その他

その他には、イベント事業及びECサイト事業などが含まれます。当第1四半期連結累計期間においては、浄化センター及び陸上養殖エリア内でのイベント事業で売上が計上されたほか、ECサイト事業で売上が計上されました。

以上の結果、その他の事業における売上高18,654千円（前年同期比15.9%増）、セグメント利益4,186千円（前年同期比846.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は2,277,437千円となり、前連結会計年度末と比較して113,318千円の減少となりました。これは主として、現金及び預金が167,965千円減少し、有形固定資産が55,812千円増加したことによるものです。

当第1四半期連結会計期間末における負債は1,258,602千円となり、前連結会計年度末と比較して113,284千円の減少となりました。これは主として、未払金が18,579千円減少し、繰延税金負債が17,809千円減少し、長期借入金が16,857千円減少し、未払法人税等が13,283千円減少し、未払費用が10,094千円減少したことによるものです。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は1,018,835千円となり、前連結会計年度末と比較して34千円の微減となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年5月15日「2023年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました通期連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,334,296	1,166,331
売掛金	194,649	181,434
原材料	38,986	44,627
未収入金	10,305	10,305
未収消費税等	1,766	1,978
その他	12,138	24,615
流動資産合計	1,592,143	1,429,292
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	424,036	447,007
その他(純額)	107,275	140,117
有形固定資産合計	531,311	587,124
投資その他の資産		
繰延税金資産	23,045	7,721
敷金及び保証金	244,256	253,298
投資その他の資産合計	267,301	261,020
固定資産合計	798,613	848,144
資産合計	2,390,756	2,277,437
負債の部		
流動負債		
買掛金	102,639	97,540
1年内返済予定の長期借入金	67,128	67,428
未払法人税等	18,185	4,902
資産除去債務	8,704	17,556
株主優待引当金	27,162	24,118
契約負債	28,939	33,594
その他	273,722	202,055
流動負債合計	526,481	447,196
固定負債		
長期借入金	454,923	438,066
繰延税金負債	206,068	188,259
資産除去債務	184,413	185,080
固定負債合計	845,405	811,405
負債合計	1,371,886	1,258,602
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,317,183	1,318,183
資本剰余金	1,386,239	1,387,239
利益剰余金	△1,682,526	△1,680,767
自己株式	△114	△114
株主資本合計	1,020,782	1,024,540
新株予約権	8,600	8,600
非支配株主持分	△10,512	△14,305
純資産合計	1,018,869	1,018,835
負債純資産合計	2,390,756	2,277,437

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	809,821	835,088
売上原価	294,821	275,789
売上総利益	514,999	559,299
販売費及び一般管理費	528,804	563,947
営業損失(△)	△13,804	△4,648
営業外収益		
受取協賛金	1,000	-
営業外収益合計	1,000	-
営業外費用		
支払利息	589	452
営業外費用合計	589	452
経常損失(△)	△13,394	△5,101
特別利益		
補助金収入	10,335	300
受取保険金	-	1,394
特別利益合計	10,335	1,694
特別損失		
アドバイザー等費用	13,400	-
特別損失合計	13,400	-
税金等調整前四半期純損失(△)	△16,458	△3,406
法人税等	△537	△1,372
四半期純損失(△)	△15,921	△2,034
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△3,916	△3,792
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△12,004	1,758

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純損失(△)	△15,921	△2,034
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	-	-
四半期包括利益	△15,921	△2,034
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△12,004	1,758
非支配株主に係る四半期包括利益	△3,916	△3,792

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1 配当金支払額

該当事項はありません。

2 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1 配当金支払額

該当事項はありません。

2 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

(追加情報)

当社及び一部の国内連結子会社は、当第1四半期連結会計期間より、単体納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号 2021年8月12日)に従っております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	店舗事業	卸売事業	加工事業	計				
売上高								
顧客との契約から 生じる収益	659,096	70,671	63,954	793,722	16,099	809,821	—	809,821
外部顧客への 売上高	659,096	70,671	63,954	793,722	16,099	809,821	—	809,821
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	1,345	1,345	—	1,345	△1,345	—
計	659,096	70,671	65,299	795,067	16,099	811,166	△1,345	809,821
セグメント 利益又は損失(△)	60,273	18,749	△7,896	71,126	442	71,568	△85,373	△13,804

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「イベント事業」及び「ECサイト事業」を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額85,373千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	店舗事業	卸売事業	加工事業	計				
売上高								
顧客との契約から 生じる収益	728,254	88,178	—	816,433	18,654	835,088	—	835,088
外部顧客への 売上高	728,254	88,178	—	816,433	18,654	835,088	—	835,088
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	5,837	5,837	—	5,837	△5,837	—
計	728,254	88,178	5,837	822,270	18,654	840,925	△5,837	835,088
セグメント 利益又は損失(△)	73,878	27,818	△21,186	80,510	4,186	84,696	△89,345	△4,648

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「イベント事業」及び「ECサイト事業」を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額89,345千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。